

大泉保育福祉専門学校 機関紙 2016.10月発行(No.65)

〒370-0525 群馬県邑楽郡大泉町日の出56の2 ☎ 0276-62-5806 FAX0276-62-5821

URL http://www.oizumihosen.ac.jp/ e-mail hosen@oizumihosen.ac.jp



# Campus NEWS はぐくみ

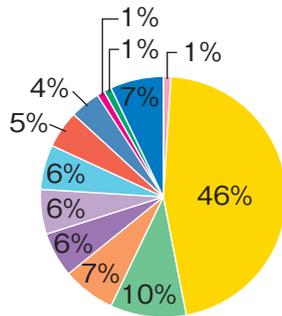


## 平成27年度 卒業生進路先

### ■学科別詳細

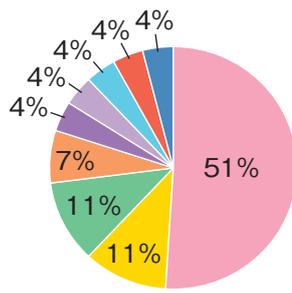
#### <保育科>

就職先種別	パーセント
公務員	1%
保育所	46%
認定こども園	10%
幼稚園	7%
障害者支援施設	6%
児童館	6%
児童養護施設	6%
託児所	5%
児童デイサービス	4%
重症心身障害児	1%
放課後児童クラブ	1%
一般企業等	7%
合計	100%



#### <福祉科>

就職先種別	パーセント
特別養護老人ホーム	51%
障害者支援施設	11%
有料老人ホーム	11%
介護老人保健施設	7%
認知症高齢者グループホーム	4%
デイサービス	4%
救護施設	4%
病院	4%
就労支援施設	4%
合計	100%



## 「充実感」

学校長 齋藤 ソノ子

昨年引き続き、今年も好きな和歌を一首紹介します。

夕月夜 心もしのみ 白露の

置くこの庭に 蟋蟀(こおろぎ)鳴くも

作者 湯原王(ゆはらの)おきま

暑くて忙しなかった今年の夏もいつの間にか終わり、強い陽射しの中にも秋がしのびよってくる気配を感じる。卒業生・在校生の皆さんは、どんな「夏休み」だったでしょうか。旅行?家族サービ

ス?テレビ見てゴロゴロ?それとも仕事?何はともあれ、心のエネルギーを補給できましたか?充実した夏でしたか? 「足を知る」老子の言葉であるが、「自分が恵まれているものを数える」ことだと理解し、ちよっとしたことでもよいことに転じさせて、指を折って数えている。 リオでのオリンピック・パラリンピックが開催された。一万人を超える参加者たちの後ろには、絶え間な

い汗と努力が見え美しかった。一方、ミサイルを発射する陰には貧困と餓えがある。いく度も襲われる自然災害にいくつもの命が奪われた。児童・高齢者虐待が文明の発展の裏側で増加している。誰もが幸福になることを願いながら、不本意な事柄が蔓延している。今、私たちにできることや自分が担わなくてはならないことを考える。

と似ている。朝の陽ざしの中で気持ちよく目覚めた時、趣味や仕事や勉強が一段落ついた時、自分が優しくいられる時間、お風呂に入ってホッ!!ホラ、充実感があるでしょ!

「みんなの幸福」は学校の理念の一つであり、誰もが願う幸せな人生を社会の中に実現させるために努力したい。幸せな人生は、イコール充実した人生ともいえる。幸せは近づくのと見えにくい、意外とすぐ傍にあるもので自分の手で作っていくものだと思う。幸せは充実感

世界一の大金持ちは一人しかいないが、世界一の幸せ者、と瞬間的にも思った人はたくさんいる筈。今の自分の幸せ探し・充実感みがきをしながら、力を抜いて一歩懸命生きていく。そんな姿をみんなが社会に反映させていければ、日本の将来、まだまだ希望を持って歩んでいける。

大泉保育福祉専門学校をはぐくむ:充実した明日のためにパワー全開!!

## はぐくみ祭のお知らせ

十一月二十六日(土)、本校の学園祭である「はぐくみ祭」を開催します。

今年のテーマは、三十九回目の開催にちなんで「感謝(サンキュー)」です。日頃の感謝を、地域の方々やお世話になっている方々に伝えたいと思いいこのテーマにしました。

今回も各クラスの模擬店や、有志の参加者によるのど自慢カラオケ大会、バンド演奏など、保育科では各ゼミの発表や展示、福祉科では体験教室などといった様々な企画を考えています。

また、昨年と同様に群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」がやっています。

はぐくみ祭を楽しみにしていただけると嬉しいです。来ていただいた皆様に喜んでほしい、良い思い出となるように学校・学生全員で一生懸命

準備をして心よりお待ちしております。



はぐくみ祭実行委員長  
学友会長  
保育科I部二年 山崎 拓海  
保育科I部二年 辻 未希哉  
保育科II部三年 岡田 蘭華

福祉分野で最初の国レベルの資格が実現し、介護福祉士が誕生してから、すでに二十九年が経過しています。この間、介護福祉を取り巻く環境は大きく変わり、新しい介護の理念に基づく介護保険制度が二〇〇〇(平成十二)年に導入されました。介護保険における介護サービスを担当するのは介護福祉士の役割です。そのことを受けて、二〇〇七(平成十九)年に「社会福祉士及び介護福祉士法」、制定当初の「身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき入浴、排せつ、食事その他の介護」の条文が、「(上略)



副校長・福祉科学科長 小池佐智子

## 社会から期待される 介護福祉士

心身の状況に応じた介護」という文に改定されています。制定初期の身体行為を中心とした介護では、現状の多様なニーズに対応することが難しくなっています。介護保険制度のスタートにおいて、利用者の「尊厳の保持」と「自立支援」が強調され、老化や加齢に伴う障害があっても、その人らしい生活ができるように、個人々の生活を再構築する支援が介護です。介護保険制度で求められる介護福祉士は、介護サービスにおける中心的役割を担える人材として期待されているのです。二つ目に二〇一一(平成二十三)年には、喀痰吸引・経管栄養等を行うことを可能にする法改正が行われています。そのことを受け、平成二十五年九月から「喀痰吸引・経管栄養研修会」を現場介護職員を対象に、本校舎にて講習会を行っています。今年で四年目になります。九十三名の方が基礎研修を修了し、実地研修も九十三名中九割の方が修了しています。ますます多様化する福祉ニーズに対応できる専門的な教育を受けた介護福祉士が社会の人々から今以上に求められると思います。



## つながり

保育科学科長 八十田晶子



卒業生のみなさん、お元気ですか。ぽかぽかと暖かかった春が懐かしく感じるくらい、季節は冬に近づいています。保育士・幼稚園教諭は季節ごとの行事に深く関わる仕事だと思えますが、私たち教職員も入学式から始まり、あつという間に卒業式になり、一年が早く過ぎていく毎日です。そのような忙しい日常の中で日々意識していることは、今自分ができる事を大切に、一生懸命考えています。卒業生のみなさんであれば、目の前にいる子ども・利用者・保護者のことを私た

ち教職員においては、学生のことを真剣に考える事が「きづくこと」につながります。私はかわりを持ち、きづくことをとても大切にしています。そして、当然卒業生のみなさんのことも事あるごとに考えています。嬉しいことに沢山の卒業生のみなさんが学校に顔を出してください。是非学校に来てください。はぐくみ祭や保育福祉演習発表会等の行事にも来てください。今年度の保育福祉演習発表会は会場の都合で三月五日(日)の開催になっています。来られる方が多いといいのですが。

また学校公式のツイッターを始めましたので、利用してください。先日、卒業生数名の方に「オンラインで本校での経験を講演して欲しい」と依頼したところ、二つ返事で承諾してください、すばらしい講演になりました。卒業生である先輩からの生の声は大変貴重なものだと感じました。卒業式の時「先生ありがとう。この学校でよかった」という言葉をみなさん言ってくれますが、私たちこそ卒業して活躍されているみなさん一人ひとりへ「ありがとう」です。夢に向かって活躍されているみなさんが私たちの喜びであり、誇りです。いつまでも卒業生のみなさまとの関係が途切れることなくつながっていきたくを願っています。



## 実務者研修スタート



受験する者のうち、いわゆる実務経験ルートについては、平成二十八年から、三年以上の実務経験に加えて、実務者研修の受講が必要になりました。

本校は、既に二〇〇人余りの介護福祉士を輩出した、伝統と実績のある福祉科に、「実務者研修課程」を開設し、今年から、新たに通信教育課程がスタートしました。

本校の「実務者研修」は、「働きながら学ぶ人たちの、学びやすさと国家試験合格への近道」をテーマに、スマホやタブレット等を使った、簡単なレポートシステムを採用しました。手書きによるレポートは無く、いつでもどこでも課題や国家試験の練習問題に取り組むことができます。七日間のスクーリングも、週一〜二日の日程のため、勤務の休みを利用した通学が可能です。

本校で共に学び、「大泉保専」を卒業した介護福祉士として、福祉の第一線で共に活躍できる日が訪れることを、期待しています。



## 「喀痰吸引等研修」について

本校は、群馬県内初の「登録研修機関」として指定を受け、平成二十五年より、介護職員を対象とした「喀痰吸引等研修(第一号・第二号研修)」を実施しています。



# わらしべ コーナー

## 喀痰吸引・経管栄養の 研修を母校で終えてこめて

介護施設に就職し喀痰吸引・経管栄養の必要な利用者の方々日々、接する中でその必要性を感じるようになりました。そんな中、職場より喀痰吸引・経管栄養の研修に参加するようにお話がありました。初めは自分に出来るのだろうかという不安がありました。母校で研修を受けるという事を聞き、その気持ちも軽くなりました。講義・実技担当の中に見知った講師の方々が数名いたためです。正答率九十パーセント以上が合格になる筆記試験も事前対策を含めた丁寧で理解しやすい講義のおかげで合格できました。人形相手に実技練習をしたり、受講者同士でペアを作って互いに鼻腔から吸引チューブを挿入し、その苦しさや相手に配慮する気持ちなども学びました。最初は喀痰吸引・経管栄養に使用する物品の名前すら知りませんでしたが、最終的には安全に注意しながら一つ一つの手順を踏み、どうしてそうする必要があるのかという根拠についても説明

できるようになりました。母校での研修を終えてみて、とても良かったと思います。講義や実技に対して顔見知りである講師の方々に質問もしやすかったですし、終了後も困ったときや分からない事があれば相談しやすかったです。今後、研修を考えている方は大泉保育福祉専門学校を検討してはどうでしょうか。

### 児童館 イベント



①児童館の一日の流れを教えてください。

Aさんの1日	
8:45	出勤・掃除
9:15	行事の準備、制作等
10:00	親子教室、赤ちゃん広場等
12:00	休憩
13:00	行事の準備、制作、学童の先生と打ち合わせ等
15:00	学童の子どもと遊ぶ、見守り等
17:00	掃除
17:30	勤務終了

Bさんの1日	
8:30	出勤・掃除
9:00	行事準備、親子教室、赤ちゃん広場準備
10:00	親子教室、赤ちゃん広場
11:00	片付け
12:00	昼食
13:00	学童職員出勤、学童室掃除・準備
14:00	行事準備
15:00	小学生登室
16:00	あそびを見守る
17:00	掃除、小学生順次降室

②児童館での仕事で楽しい時はどんな時ですか？

- ・赤ちゃんや小学生など、子どもたちとの触れ合いや、季節の行事、近所のお年寄りの方を招いた様々なイベントに参加した時です。
- ・工作を作る時です。
- ・自由来館の児童や学童の子ども

③児童館の仕事で大変な時・苦労する時はどんな時ですか？

- ・親子教室、赤ちゃん広場など親子で参加して頂くものは、ママも子どもも楽しめるものを考え、実践することは保育園とは違った大変さがあります。また学童に来ている子同士のいざこざの解決が想像以上に大変でした。
- ・細かい作業が自分にとっては大変に感じます。
- ・子どもが安全に遊べるよう配慮する事です。職員の方々の指導をいただきながら、日々学んでいきます。

④学生の時にやっておいて良かったこと・もっと力を入れておけば良かったと思うことはありますか？

- ・授業の中で行った、友達の前で絵本の読み聞かせをしていたことで、子どもに向けた絵本読みは反応もあり、とてもスムーズに出来ました。また、小学校就学前の子が児童館を利用する際に必ず保護者の方と一緒に遊びをたくさん勉強しておけば良かったと思います。
- ・分からない所がある時、必ず聞くことを習慣としてやっていたのが良かった。もっと視野を広く子どもたちを見守っていたいと思います。
- ・手遊びや歌はレパートリーが広がり役に立つと思うので、もっと覚えておけば良かったと思います。



⑤児童館での就職を決めた理由を教えてください。

- ・学生の頃、ボランティアをさせていたときに、幅広い年齢層の方々とたくさん関わられる児童館での仕事に魅力を感じたからです。
- ・最初は児童館という所がどんな所か分かりませんでした。児童館のボランティアに三回ほど行かせていただき、大変お世話になった児童館の小学生の印象が強く残ったため就職を決めました。
- ・広い範囲の方が利用し、様々な行事などがあり、児童館は触れ合いの場であり、近所のお年寄りの方との交流も魅力的に感じました。

⑥児童館に就職したいと考えている後輩へのアドバイスをお願いします。

- ・小さな子どもから小学生、同じ子どもでも接し方は大きく変わります。大変なこともあると思いますが、ぜひ楽しみながら仕事ができると思います。また、色々な行事を通じてたくさんの方と学んだりできる素敵な場所だと思います。頑張ってください！
- ・児童館について分からない所があるかもしれませんが、質問等をしていくことで職員の方々もとても優しく指導して下さいます。不安な気持ちがあるかもしれませんが、まず一歩踏み込んで一生懸命頑張ってください。
- ・児童館では生後数ヶ月の赤ちゃんから高齢の方々までとても幅広い方々と関わることができて、成長を見守ることができ、とても良い施設だと思います。そこで大切なのは笑顔だと思っています。笑顔顔を絶やさず頑張ってください。

### 現場の声 「人間関係って大事」

皆さんはこれまで生活してきた中で様々な環境やグループの中に身を置いて生活してきたかと思えます。例えば、家族や親せき、学校、委員会、部活、そしてこれから身を置くであろう職場。そのどれもが人間関係を必要としています。

皆さんの中にはもちろん人間関係が大事なことから知っている方も多いと思いますが、どうして大事なのでしょうか？ どうしたら築けるのでしょうか？

皆さんは専ら学び、これから自身で選んだ職場へ就職していく事でしょう。その時、多くの方がこの人間関係に不安を感じたり、悩むことでしょうか。そうです：人間関係って大事とわかっていても難しいんです。では、何が難しいのか？：保育や介護の現場にこれから皆さんは進もうとしていると思います。子どもやお年寄りを相手にしたお仕事です。目的は皆さんも先輩職員も一緒です。しかし、目的は一緒でも考え方や行動は一人ひとり違ってしまふものなんです。だからと言って個人プレーができるかと言うとこれもできません。同じ目的を持った職員同士、一つのチームとして協力や連携が必要となってくるのです。

その時、この人間関係が成り立っていないと必要な連絡や自分の思い(声)がうまく相手に伝わらず、結果、目的ははっきりしていても足並みが揃わず、進む方向がバラバラになってしまう事にもなりかねないのです。

じゃあ、どうすれば人間関係って築けるのか? 皆さんは就職すれば新人職員となります。非常に弱い立場かもしれません。そんな時はまず、先輩職員に積極的に声をかけましょう。これは仲良しの友達になろうという事ではありませぬ。その職場のチームの一員として、新人職員という立場を十分に活かし、学ぼう! ステップアップしよう! という思いで声をかけましょう。先輩職員の方々はたくさん、新人職員を見てきています。やる気や努力の姿勢を見抜く事ができますよ。そして、時にはチームの一員として他の職員を気遣い、フォローしましょう! 保育も介護も個人の力では行えない、難しい仕事です。それは、先輩職員ももちろん一緒です。だからこそ、同じチームの一員として助け合い、そして「協力」「連携」を意識してみましょう。

人間関係って難しいですね。皆さんの中には面倒くさいと思う方もいるでしょう。しかし、良好な人間関係を築く事は皆さんの成長に繋がり、結果、保育や介護の仕事という同じ目的に足並みを揃えて、進んでいく事になります。

【人間関係】皆さんが気持ちよく、働きやすい環境にする為には必要不可欠ではないでしょうか?



## わらしべ特集

障がい者支援施設で生活をされている方の施設での生活についてお聞きしてきました。生の声を皆様に届け、様々な事を感じていただくと嬉しいですよ。



### 「障がいを受け入れる」

■事例Aさん(六十一歳) 男性  
脳性まひ

自分に障がいがあるとわかったのは十歳の時、周りの人と自分が違うことに気付いた。歩くこともできない、学校へ行くこともできないと自覚した。頭では分かっているが体が動かない。何もかも人の力を借りなくてはいけない生活が辛かった。

そのような中で、自立した生活とは何か?と問いかけ、体は動かないが、自分の力で精いっぱい何かをやっているかと思つた。それまでは家にずっといる生活でしたが、自立していくためにも、自分の想いや考えを人に伝えるためにどうしたらよいかについて考えるようになった。また、趣味の読書から、文章を読んだり書いたりすることに力を入れ、小説を書きたいと思うようになった。外出し公民館などでたくさんの人と触れ合うこともした。自分の生活が少しずつではあるが、変わっていった。今は施設に入所し、自分の好きな読書など自分の出来る事を今後も続けていけるように健康維持に気をつけています。

■事例Bさん(五十五歳) 男性  
脊椎梗塞による四肢、体幹機能障害

四十八歳の時、ある日突然、食事をしていて胸が痛くなった。病院に搬送された。

翌日検査のため、採血を行ったとたんに左足から麻痺が始まって、一時間くらいで右足も動かなくなつた。時間を追うごとに感覚がどんどんなくなつて三時間で首まで麻痺してしまつた。さつきまで動いていた体が動かなくなることに恐怖を感じた。自分は今もう駄目なんだと思つた。今でもその時の家族の顔が忘れられない。

治療の結果、麻痺は胸まで回復したが、動くこともできない体になり、これからどうなつてしまうのか?という不安から死にたいという気持ちが出てきたが、自分では死ぬこともできないことがさらに辛くなり、家族にあたつてしまつた。

一年半位は、一人部屋で考えていると不安になり怖くなつてパニックを起こしてしまつたこともあつた。なんで自分かという想いがあつたが、そんな想いを振り払つてくれたのは家族や友人の支えだつた。

病状が落ち着くとリハビリのため転院することになった。転院先の病院で、リハビリ室では自分より重度の障がいを負つた人達が懸命にリハビリをしていた。そのような姿を見て、自分もやらねばという気持ちを持てた。しかし、一番大きかつたのは、それまで寝たきりの生活だつた自分に対し、車いすに乗せて外へ連れ出してくれるスタッフの人達だつたと思う。障がいを負つた自分の姿を見られたくないという思いがあつたが、外に出ていろいろな人達と関わる

ことで、もつと外に出たい、様々なことに挑戦していきたくと思うようになった。

今は、リハビリの成果も出て腕を動かすこともできるようになった。施設では、電動車いすに乗って生活をしている。自分で行きたいと思うところに行けるようになった。生活の幅が広がることで世界が広がつた。家族と一緒に生活をしたいという目標を持てるようになった。



### 総会のお知らせ

この度、平成二十八年十一月二十六日(土)に本校で開催されます「はぐくみ祭」におきまして、わらしべ同窓会総会を開催することになりました。

事業報告・会計報告・役員改選などを行う予定です。わらしべ同窓会活動についてご意見などがありましたらお聞かせください。

### はぐくみ祭に参加します

平成二十八年十一月二十六日(土)本校にてはぐくみ祭が開催されます。はぐくみ祭当日には、わらしべ同窓会の活動内容について興味や関心を持っていただけるように、同窓会役員が楽しい企画をしております。

学生生活の仲間やご家族、友人の方と、ご多忙の折大変恐縮ではございますが、是非足をお運びください。皆様の参加を役員一同お待ちしております。

### レンタル物品

レンタル物品の貸出しを平成十五年より開始し、同窓会生の皆様より大好評を得ております。

皆様の職場で活用できるようなレンタル物品をそろえております。

レンタルの方法は、学校に來校していただき必要な書類に記入してください。遠方の方は送付の手続きをとることが出来ます。(送料は本人負担)皆様のご利用をお待ちしています。

### 是非レンタルをして職場などで役立ててくださいね

パーティーレンジャー



動物パペットセット



着ぐるみ・大型絵本・紙芝居



パネルシアターセット

### \*コラム・メッセージ募集\*

保育・福祉に従事する同窓会生から、各法令や現場の声に関するコラム、職場の取り組み、学校や同窓生に対してのメッセージ等を掲載していきたくと思います。

保育科  
**大泉まつり**

今年も七月二十三日(土)、二十四日(日)に開催された大泉まつりに音楽ゼミ、体育ゼミが参加しました。

音楽ゼミは二十三日(土)西小泉広場ステージにて「夢を叶えてドラえもん」など四曲を発表しました。午前中はオープンカレッジのセレモニーもあり二回目の発表となりましたが、学生は疲れも見せず元気に歌って踊りました。



体育ゼミは二十四日(日)特設ステージ二か所にて、県警の方や会場の方たちとともに「NO! 詐欺音頭」を踊り、詐欺防止活動のお手伝いをしました。

どちらの会場も村山町長をはじめ多くの方に見ていただき、熱い声援をいただきました。学生たちにとって、とても有意義な時間となりました。



**Twitter (@oizumi\_hosen) 始めました!**



大泉保育福祉専門学校公式 Twitter (@oizumi\_hosen) の運用を開始しました。  
学校生活のことなどいろいろつぶやいていきます。  
ぜひフォローしてくださいね!!

【公式 Twitter】 [https://twitter.com/oizumi\\_hosen](https://twitter.com/oizumi_hosen)



ご存じですか?

**きょうだい・親子割引制度**

※学生募集に際して※

本校では、学びたい入学生を支援するため、入学試験の際に、本校独自の特待生制度ならびに奨学金制度を設けています。その他にも、「きょうだい・親子割引制度」があります。親子・兄弟姉妹が本校を卒業、または在学している場合、入学金(十四万円)が免除となります。昨年度は十一名が、本制度を利用して入学しました。詳しくは、企画部までお問い合わせ下さい。

保育科

卒業生支援

**おしゃべり会**  
について

七月三十一日(日)の午後、卒業生支援の一環として「おしゃべり会」が開催されました。とても暑い日でしたが、今年の春に卒業していった懐かしい卒業生が大勢集まってきました。

卒業生はこの日を指折り数え待っていたということで、開催時間の一時間前から来ている人もちらほらといました。会が始まると、近況報告や今後の抱負などを一人ひとり発表し、それが一通り終わると各々情報交換などとして再会を喜び合っていました。皆、卒業してから四か月ほどしか経っていませんが、この間に多くの経験をさせて保育者としての自覚と自信を兼ね備えた顔つきに変わっていました。

また、送り出した立場としては、卒業生の成長に驚くとともに、ともに過ごした二年間の意義を改めて感じる事ができました。

一時間半という短い時間ではありましたが、卒業生にとっても教員にとっても有意義な時間を共有できたひと時でした。

